

**MFJ GP**  
**SUZUKA**

2019 51st MFJ GRAND PRIX  
SUPERBIKE RACE in SUZUKA

**JSB 1000**  
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP  
**QUALIFYING PRACTICE  
REPORT & INTERVIEW**

# SUPERBIKE EXPRESS--

EXtra, EXpert and EXtreme

2019 MFJ  
ALL JAPAN  
CHAMPIONSHIP  
ROAD RACE  
**SUPERBIKE  
EXPRESS 8**

## 高橋巧が孤高の2分03秒台でダブルポールを獲得! 逆転タイトルを狙う中須賀克行も上り調子!! 栄光をつかむのは、果たして!?

第51回を迎えたMFJグランプリが今年も三重県・鈴鹿サーキットで行われている。J-GP3クラスは、前戦のオートポリスで長谷川聖がチャンピオンを決めているが、ST600クラス、今回が最後となるJ-GP2クラス、そしてJSB1000クラスはタイトルが決まる一戦となる。

JSB1000クラスは、シリーズ前半戦をTeam HRCの高橋巧がリードし、後半戦はYAMAHA FACTORY RACING TEAMの中須賀克行が巻き返す展開となっている。前戦のオートポリスラウンドでは、中須賀がダブルポール。高橋巧が両レースとも3位となり、その差は11ポイントまで縮まって今回の最終戦MFJグランプリを迎えた。追う中須賀にとって勝つことで逆転チャンピオンの可能性が開けてくるが、守る高橋巧は、両レースとも3位に入ればチャンピオン獲得となる。どちらもノーポイントだけは、絶対に喫したくないところだ。

今年も最終戦は事前テストはなく、一日早く木曜日からレースウィークがスタート。木曜日から土曜日まで天候に恵まれ、ドライコンディションでセッションは進んでいった。

Team HRCのみ専有走行がありテストを行っていたが、コンディションがあまりよくなく、初日は高橋巧がトップタイムをマークするものの2分05秒134と、2分05秒台にとどまっていた。4月の第2戦鈴鹿2&4では、2分03秒台をマークしており、そのときに比べても、まだまだ感触は戻って来ていないと語っていた。一方、中須賀は、テストコースで鈴鹿を想定したテストを行い絶好調だったが、実際に鈴鹿を走ってみると、かなり勝手が違い戸惑ったと言う。初日には、2輪シケイン先で転倒を喫する場面もあったが無傷だったのは幸

이었다。中須賀は金曜日には2分04秒569までタイムを縮めトップタイムをマーク。一方、高橋も2分04秒台に入れ、タイトルを争う2人を中心にセッションが展開されていった。

それは土曜日の公式予選も変わらなかった。今回の公式予選は、レース1を午前中に、レース2を午後、それぞれ30分間のセッションがあり、それぞれのグリッドが決まる初めてのスケジュールで行われた。

セッション開始早々、サーキットはどよめきに包まれる。高橋巧が計測3周目に2分03秒592をマーク!自身の持つコースレコードをコンマ3秒更新するスーパーラップを披露する。

「計測1周目に2分04秒6が出たので、2分03秒台に入れたいなと思っていましたが、自分でも、あそこまでタイムを出せるとは思っていませんでした。鈴鹿2&4のときは、4輪が走っていて2分03秒8まで行っていたのですが、今回のレースウィークは、何に苦戦していたのか、よく分からない状態でした。レース2の予選でもタイムを更新したかったのですが、空気が冷たくなりコンディションが変わってしまい2分04秒3しか出せなかったのですが、それがポールタイムになってよかったです。まだ4月のときの方がいいフィーリングでしたが、かなり調子が戻って来ています」とダブルポールを獲得した高橋巧。

両セッションとも2番手につけたのは、やはり中須賀だった。「自己ベストは更新できましたが、それ以上のタイムを(高橋巧選手は)出してきましたね。ただ、鈴鹿2&4のときより、自分自身のベースアップができていますし、レースで勝負したいですね。決して楽な

レースはさせたくないところです」と中須賀。

チームメイトの野左根航汰が両セッションとも3番手につけフロントロウの3人は、両レースとも同じ順に並ぶことになった。

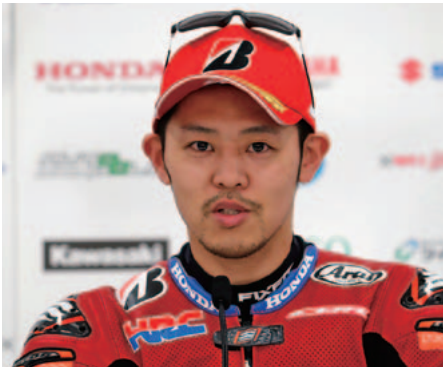
「レース1の予選セッションでは2分04秒台に入れたかったのですが、2分05秒台真ん中くらいで走ることができたので、まずまずの感触でした。レース2の予選は、気温が下がったからかグリップが今ひとつだったのですが、少しソフト目のタイヤがあたって2分04秒台で自己ベストを更新することができました。トップ2が速いですが、今年最後のレースですしベストを尽くしたいですね」と野左根。

2列目も渡辺一馬と水野涼のポジションが入り代わるが、同じメンバーが両レースとも並ぶ。カワサキのエース渡辺一馬は、レース2の予選で問題が出たためタイムを出し切れなかったと言うが、ここまで順調にセットを詰めてきている。後半戦で調子のよかった水野だが、鈴鹿では、やや苦戦気味。それでも自己ベストは更新しており、レースでは上位に絡んで来る可能性もあるだろう。ヨシムラの渡辺一樹、au・テルルMotoUP RTの秋吉耕佑、Kawasaki Team GREENの岩戸亮介も今シーズンの集大成のレースを見せたいところだ。また、レース2の予選でHonda Suzuka Racing Teamの亀井雄大がマークした2分06秒875というタイムも特筆すべきものと言える。

高橋巧が鈴鹿2&4レースのようなワンサイドレースに持ち込むか!? 中須賀が意地を見せるか!? HondaとYAMAHAのエースが主導権を握ることは間違いない。2019年シーズン最後のバトルをぜひ楽しんで欲しい!

JSB 1000

QUALIFYING PRACTICE INTERVIEW



レース1ポールポジション: R 2'03.592  
 レース2ポールポジション: 2'04.385  
**#13 高橋 巧**  
**Team HRC**

『レース1の予選では、自分の想像以上にタイムが出てよかったのですが、レース2の予選では、コンディションが変わりタイムが伸びませんでした。それでも何とかポールを獲得したのは、よかったですね。後半戦では、いい流れを作れていなかったのですが、今回は、その流れを取り戻すことができつつあると思うので、決勝に向けていい形で予選を終えられたと思います。理想は、鈴鹿2&4レースのように前に出てレースをコントロールしたいのですが、そう簡単に勝てるとは思っていません。今年やってきたことをすべて出し切って勝ちたいですね』

JSB1000 Race1 公式予選正式結果表

●予選: 天候/晴 路面/ドライ 出走30台  
 ●決勝[Race1]スタート進行/10:50(14周)

Pos No	Rider	Team	Time
1	13 高橋 巧	Team HRC	R 2'03.592
2	1 中須賀 克行	YAMAHA FACTORY RACING TEAM	2'04.276
3	4 野左根 航汰	YAMAHA FACTORY RACING TEAM	2'05.080
4	23 渡辺 一馬	Kawasaki Team GREEN	2'05.241
5	634 水野 樹	MuSASHi RT HARC-PRO.Honda	2'05.671
6	26 渡辺 一樹	ヨシムラスキMOTUL	2'06.212
7	090 秋吉 耕佑	au・テレルMotoUP RT	2'06.362
8	12 加賀山 就臣	ヨシムラスキMOTUL	2'06.389
9	75 前田 恵助	YAMALUBE RACING TEAM	2'06.650
10	64 岩戸 亮介	Kawasaki Team GREEN	2'06.697
11	95 生形 秀之	エスパルスドリームレーシング・IAI	2'07.817
12	15 Zaqhwan Zaidi	Honda Asia-Dream Racing SHOWA	2'07.902
13	35 亀井 雄大	Honda Suzuka Racing Team	2'07.936
14	72 高橋 裕紀	KYB MORIWAKI RACING	2'07.940
15	71 津田 拓也	TK SUZUKI BLUE MAX	2'07.970
16	44 関口 太郎	Team ATJ	2'07.971
17	19 濱原 颯道	Honda Dream RT 桜井ホンダ	2'07.980
18	87 柳川 明	will-raise racingRS-ITOH	2'08.880
19	18 津田 一磨	Team Baby Face	2'09.198
20	31 小島 一浩	Honda 緑陽会熊本レーシング	2'09.799
21	77 伊藤 和輝	will-raise racingRS-ITOH	2'09.825
22	36 今野 由寛	Moto Map SUPPLY	2'10.328
23	85 中冨 伸一	HITMAN RC甲子園ヤマハ	2'10.329
24	70 清末 尚樹	TeamWITH87KYUSYU	2'10.427
25	46 星野 知也	TONE RT SYNCEDGE4413	2'10.669
26	22 児玉 勇太	Team Kodama	2'11.886
27	56 田尻 悠人	GOSHI Racing	2'12.096
28	37 黒木 玲徳	GOSHI Racing	2'12.387
29	27 柴田 義将	Team Yossy	2'13.109
30	30 須貝 義将	チームスガイレレーシングジャパン	2'13.717

以上予選通過車両:  
 "R"マークの車は、コースレコードを更新しました。  
 従来のレコードタイムは 2'03.874  
 予選通過基準タイム(108%) 2'14.261

JP 250

Presented by DUNLOP

片山千彩都(NAT)総合優勝  
 谷本音虹郎(INT)が2連勝!

2019 MFJカップJP250選手権 第6戦の決勝レースは、すでに2年連続インタークラスチャンピオンを決めている笠井悠太がホールショットをゲット。2台でのトップ争いとなった笠井と谷本音虹郎に片山千彩都が接近。その3台がファイナルラップの西ストレートやシケンインで激しすぎるバトルを展開。片山(ナショナル優勝)、谷本(インター優勝)、笠井のオーダーでチェッカーを受けた。



最終ラップのシケンインまで続いたトップ争い

決勝正式結果(8周/上位10位)

●11月2日(土)予選・決勝 天候/晴 路面/ドライ 出走34台

Pos	No	Cls.	Rider	Team
1	54	N 1	片山 千彩都	GOSHI Racing
2	3	I 1	谷本 音虹郎	speedHeart DOGFIGHTR YAMAHA
3	20	I 2	笠井 悠太	TEAM TEC2
4	27	I 3	石井 千優	TONE RT 千葉北ボケバイクコース+N-PLAN
5	55	I 4	中沢 寿寛	i-FACTORY&Mガレージ
6	24	N 2	平松 太陽	TEAM TEC2
7	95	N 3	福井 宏至	YTR
8	22	N 4	岡部 怜	Team i-FACTORY
9	35	N 5	佐々木 将旭	Team KYOEI GO&FUN Racing
10	38	N 6	本郷 雅也	GO&FUNRacingTeamKYOEI

J-GP2  
 QUALIFYING PRACTICE REPORT & INTERVIEW

名越哲平がレコード更新、今季5回目のポールポジション!  
 「緊張感を“ワクワク”に変えて勝ってタイトルを決める!



名越哲平



ポールポジション: R 2'09.428  
**#634 名越 哲平**  
**MuSASHi RT HARC-PRO.**

絶好のコンディションで行われ、2クラスでレコードタイムが更新されている最終戦の公式予選。J-GP2クラス、30分間の公式予選セッションもレコードタイムが破られる展開となった。ポイントリーダーの名越哲平が序盤に2分10秒3でトップに浮上した後、榎戸有寛が10秒015をマークしてトップを奪取。尾野弘樹が10秒871とここまでが10秒台、タイトルを争う作本輝介は11秒548まで上げるが4番手。

セッションの中盤以降も名越はアタックを続け、10秒048と自己ベストを更新するものの2番手のまま。迎えた残り数分で名越が渾身のアタック。9秒509と9秒台に入れ、さらにチェッカー一周もアタックを継続。9秒428とレコードタイムを更新。今季5回目、タイトルに一步近づきポールポジションを獲得した。2番手は榎戸、尾野、作本が11秒115で続き、5番手には終盤にタイムを伸ばした岩崎哲朗が11秒835、豊島怜が12秒482で続く。

『2クラスでレコードが出てましたし、コンディションもすごく良かったので、鈴鹿でもポールポジションを取れたのは嬉しく思います。レコードタイムも更新できたことで、このクラスのレベルの高さを証明できたと思います。金曜日までは2分9秒に入れば良いとおもっていましたが、予選では走り始めからすぐ10秒前半に入りましたし、コンディションも良く自分自身もすごく乗れていたで、今持てる力を出し切った結果、レコードを更新できたこともすごくとても良かったです。決勝に向けてはロングラップも高いアバレージタイムで出来ていて、予選中にも良いセットが見つかったので、決勝前のフリー走行で最終調整して、自分の走りをしっかりして、優勝そしてタイトルを決めたいと思います』

**ST 600**  
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP  
QUALIFYING PRACTICE  
REPORT & INTERVIEW



## 荒川晃大、ニューレコードで全日本初ポール! 「ミスをしたないように自信を持ってレースに臨みたい!」



荒川晃大

長尾健吾や岩田悟らが2分12秒台をマークしてセッション早々に上位につけるが、ルーキーの荒川晃大が2周目にいきなりレコードタイムをブレイクする11秒810をマークして堂々のトップに立つ。チャンピオンを争う岡本裕生が12秒228をマークし2番手に上がるが、小山知良も12秒048でそれを上回り2番手を奪う。しかし、そのバトルに南本宗一郎が割って入り、11秒818とトップとの差0.008秒差で2番手に浮上した。

小山もさらに11秒945と11秒台にタイムアップするが、3番手とポジションは変わらない。セッションも残り少なくなり、上位陣のタイムに変化のない中、南本はアタックを続け11秒台を何回かマークするが、残念ながらトップには及ばず。

ポールポジションは全日本初となる荒川が獲得。2番手に南本、小山が11秒台で1列目に並び、4番手岡本、國峰啄磨が12秒383、12秒485で長尾健吾までが2列目からのスタートとなった。



ポールポジション：R 2'11.810  
#54 荒川晃大  
MOTO BUM HONDA

『初めての全日本選手権のポールポジションなので、とても嬉しいです。今年これまでは一桁グリッドを目標にレースに臨んできましたが、この鈴鹿は鈴鹿選手権やスクール(SRS-Moto)で昨年から走り込んでいるサーキットで、自信を持って取り組んできました。予選でしっかりタイムを出すという気持ちでがむしゃらに走りました。その結果ポールポジションを獲得できました。目標は11秒台を出さないと、トップ争いには加われないかなと自分の中で思っていたので、11秒台でポールポジションを取れ、決勝レースもどうなるかわかりませんが、集中してトップを狙って走ります』

**J-GP3**  
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP  
QUALIFYING PRACTICE  
REPORT & INTERVIEW

## 高杉奈緒子が全日本初ポールポジション! 「決勝では集中して表彰台の一番高いところに立ちたい!」



高杉奈緒子

最終戦最初の全日本公式予選、J-GP3クラスは30分の1セッションで行なわれた。好天に恵まれたサーキットで、まず存在感を示したのが高杉奈緒子。上位陣が2分20秒台の中、3周目にいきなり2分18秒965をマークしてトップに躍り出た。その後、村瀬健琉が19秒351、成田彬人も19秒836まで上げて2番手、3番手に続く。4番手には福岡佑斗が20秒168。セッション後半、中山愛理、鈴木大空翔らがタイム

アップ、鈴木は19秒893をマークして4番手へのポジションを上げた。その後、残り数分の時点で赤旗中断があり、残り4分で再開されたセッション。実質的なタイム計測は残り1周という中、区間ベストをマークするライダーは現れたが、最終的に上位陣はタイムアップが見られず、高杉が全日本初ポールポジションを獲得した。2番手村瀬健琉、3番手成田。セカンドロウには鈴木、福島、細谷が20秒319で続く。



ポールポジション：2'18.965  
#20 高杉奈緒子  
41Planning

『ポールポジションを取れたのは、勝ちたい気持ちが強くて、応援してくれる人に応えたいという思いもあって、それが実現したという感じです。チームもすごく頑張ってくれて、それらすべてのお陰だと思います。だから、今はようやくここまで来られてほっとしているところです。決勝に向けては気持ちを切り替えて、集中してレースに向き合いたいと思います』

# MFJ Superbike the51st MFJ Grand Prix SUPERBIKE RACE in SUZUKA 02 - 03 Nov. 2019 公式予選結果

Supported by  
**BRIDGESTONE**



●予選:天候/晴 路面/ドライ 出走33台  
●決勝スタート/11:55(13周)

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	54	荒川 晃大	MOTO BUM HONDA	CBR600RR	R 2'11.810
2	6	南本 宗一郎	AKENO SPEED・YAMAHA	YZF-R6	2'11.818
3	230	小山 知良	日本郵便HondaDream TP	CBR600RR	2'11.945
4	1	岡本 裕生	BH AUCTION51ガレージニトロレーシング	YZF-R6	2'12.228
5	55	國峰 啄磨	日本郵便HondaDream TP	CBR600RR	2'12.383
6	50	長尾 健吾	NCXXRACING&善光会 TEAMけんけん	YZF-R6	2'12.485
7	12	古山 頌太	伊藤レーシングBORG カスタム	YZF-R6	2'12.764
8	19	稲垣 誠	AKENO SPEED・YAMAHA	YZF-R6	2'12.781
9	98	佐野 勝人	チーム阪神ライディングスクール	ZX-6R	2'12.794
10	420	岩田 悟	日本郵便HondaDream TP	CBR600RR	2'12.924
11	13	杉山 優輝	MOTO BUM HONDA	CBR600RR	2'12.944
12	64	伊達 悠太	BATTLE FACTORY & KIMA Racing	CBR600RR	2'13.255
13	97	佐野 優人	BATTLE FACTORY	CBR600RR	2'13.261
14	96	STEFAN HILL	TEAM VITAL SPIRIT	YZF-R6	2'13.414
15	39	和田 留佳	will-raise racingRS-ITOH	ZX-6R	2'13.595
16	57	奥田 教介	ARMY GIRL TEAM MF&Kawasaki	ZX-6R	2'13.597
17	40	菅原 陸	保険職人GBSレーシング YAMAHA	YZF-R6	2'14.031
18	71	上原 大輝	SDG Mistresa RT HARC-PRO.	CBR600RR	2'14.041
19	45	長尾 健史	TEAMけんけん with BEE	YZF R6	2'14.179
20	340	岡村 光矩	KRP三陽工業&RS-ITOH	ZX-6R	2'14.251
21	51	関野 海斗	BH AUCTION51ガレージニトロレーシング	YZF-R6	2'14.349
22	17	仲村 優佑	AKENO SPEED・YAMAHA	YZF-R6	2'14.390
23	46	中島 元気	Honda浜友会浜松エスカルゴ	CBR600RR	2'14.691
24	22	中山 耀介	TEAM SHOTA	YZF-R6	2'14.859
25	14	行村 和樹	Kohara Racing Team	CBR600RR	2'14.909
26	88	名越 公助	TEAM PLUSONE with TARO	YZF-R6	2'15.603
27	48	横山 尚太	ガレージL8 Racing Team	YZF-R6	2'15.625
28	53	家根谷 大晟	Team MF & Kawasaki +eS_Style	ZX-6R	2'15.816
29	41	田所 隼	Honda Suzuki Racing Team	CBR600RR	2'15.844
30	47	鈴木 光栄	ENDLESS TEAM SHANTI	CBR600RR	2'15.909
31	73	澤村 俊紀	ENDLESS TEAM SHANTI	CBR600RR	2'16.664
32	69	中村 竜也	RS-ITOH&AUTOBOY	ZX-6R	2'16.791
33	58	村瀬 豊	ifレーシング&モトテックRS	CBR600RR	2'17.972

以上予選通過車両:

"R"マークの車は、コースレコードを更新しました。従来のレコードタイムは 2'11.920

予選通過基準タイム (108%) 2'22.406



●予選:天候/晴 路面/ドライ 出走30台  
●決勝[Race2]スタート進行/15:00(20周)

## Race2 公式予選正式結果表

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	13	高橋 巧	Team HRC	CBR1000RR SP2	2'04.385
2	1	中須賀 克行	YAMAHA FACTORY RACING TEAM	YZF-R1	2'04.504
3	4	野左根 航汰	YAMAHA FACTORY RACING TEAM	YZF-R1	2'04.616
4	634	水野 涼	MuSASHI RT HARC-PRO.Honda	CBR1000RR SP2	2'05.796
5	23	渡辺 一馬	Kawasaki Team GREEN	ZX-10RR	2'05.908
6	26	渡辺 一樹	ヨシムラスズキMOTUL	GSX-R1000L9	2'06.166
7	090	秋吉 耕佑	au・テルルMotoUP RT	CBR1000RR SP2	2'06.370
8	64	岩戸 亮介	Kawasaki Team GREEN	ZX-10RR	2'06.388
9	35	亀井 雄大	Honda Suzuka Racing Team	CBR1000RR	2'06.875
10	75	前田 恵助	YAMALUBE RACING TEAM	YZF-R1	2'06.961
11	12	加賀山 就臣	ヨシムラスズキMOTUL	GSX-R1000L9	2'07.509
12	71	津田 拓也	TK SUZUKI BLUE MAX	GSX-R1000	2'07.595
13	19	濱原 颯道	Honda Dream RT 桜井ホンダ	CBR1000RR SP2	2'07.620
14	15	Zaqhwan Zaidi	Honda Asia-Dream Racing SHOWA	CBR1000RR SP2	2'07.882
15	44	関口 太郎	Team ATJ	CBR1000RR SP2	2'08.121
16	72	高橋 裕紀	KYB MORIWAKI RACING	CBR1000RR SP2	2'08.260
17	95	生形 秀之	エスバレスドリームレーシング・IAI	GSX-R1000L8	2'08.296
18	87	柳川 明	will-raise racingRS-ITOH	ZX-10RR	2'08.595
19	18	津田 一輝	Team Baby Face	YZF-R1	2'09.474
20	77	伊藤 和磨	will-raise racingRS-ITOH	ZX-10RR	2'09.806
21	36	今野 由寛	Moto Map SUPPLY	GSX-R1000R	2'09.970
22	46	星野 知也	TONE RT SYNCEDGE4413	S1000RR	2'10.047
23	85	中富 伸一	HITMAN RC甲子園ヤマハ	YZF-R1	2'10.717
24	70	清水 尚樹	TeamWITHB7KYUSUYU	ZX-10RR	2'10.759
25	31	小島 一浩	Honda 緑陽会熊本レーシング	CBR1000RR SP2	2'11.317
26	56	田尻 悠人	GOSHI Racing	CBR1000RR SP2	2'11.731
27	22	児玉 勇太	Team Kodama	YZF-R1	2'11.743
28	37	黒木 玲徳	GOSHI Racing	CBR1000RR SP2	2'12.078
29	27	柴田 義将	Team Yossy	YZF-R1	2'12.494
30	30	須貝 義行	チームスガイレレーシングジャパン	RSV4 RF	2'13.478

以上予選通過車両:

予選通過基準タイム (108%) 2'14.461



●予選:天候/晴 路面/ドライ 出走12台  
●決勝スタート進行/13:55(13周)

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	634	名越 哲平	MuSASHI RT HARC-PRO.	HARC-PRO/HP6-q	R 2'09.428
2	71	榎戸 育寛	SDG Mistresa RT HARC-PRO.	HARC-PRO/HP6q	2'10.015
3	392	尾野 弘樹	ミクニ テリー&カリ	SUZUKI/GSX-R600	2'10.871
4	4	作本 輝介	Team 高武 RSC	MORIWAKI/MD600	2'11.115
5	70	岩崎 哲朗	OGURA CLUTCH with RIDE IN	Kawasaki/ZX-6R	2'11.835
6	18	豊島 怜	Speed heart DOG FIGHTER YAMAHA	YAMAHA/YZF-R6	2'12.482
7	14	阿部 恵斗	Webikeチーム/リックヤマハ	YAMAHA/YN6	2'12.507
8	36	徳留 真紀	マルマエMTR	Honda/HP6	2'13.358
9	19	井手 翔太	HITMAN RC甲子園ヤマハ	YAMAHA/YZF-R6	2'14.221
10	20	筒井 伸	O-TEC suzuka usuki R&D	YAMAHA/YZF-R6	2'16.666
11	79	朝比奈 正	アサヒナレーシング	ASAHINA/Z600	2'18.803
12	44	小口 理	ALLMAN & OW racing	YAMAHA/YZF-OWR6	2'19.277

以上予選通過車両:

"R"マークの車は、コースレコードを更新しました。従来のレコードタイムは 2'09.465

予選通過基準タイム (108%) 2'20.513

## 2019 Rider Point Standing ※第7戦オートボリス大会終了時

[JSB1000]		[J-GP2]		[ST600]		[J-GP3]	
Rider	Pts.	Rider	Pts.	Rider	Pts.	Rider	Pts.
1 高橋 巧	222	1 名越 哲平	135	1 小山 知良	135	1 長谷川 聖	135
2 中須賀 克行	211	2 作本 輝介	129	2 岡本 裕生	126	2 鈴木 大空翔	104
3 野左根 航汰	199	3 榎戸 育寛	128	3 奥田 教介	107	3 中山 愛理	97
4 水野 涼	177	4 小谷 咲斗	102	4 長尾 健吾	100	4 村瀬 健球	88
5 渡辺 一樹	177	5 岩崎 哲朗	86	5 南本 宗一郎	100	5 福嶋 佑太	87
6 渡辺 一馬	147	6 徳留 真紀	84	6 國峰 啄磨	97	6 岡崎 静夏	80
7 加賀山 就臣	135	7 尾野 弘樹	77	7 古山 頌太	63	7 藤井 謙汰	76
8 岩戸 亮介	131	8 阿部 恵斗	74	8 佐野 優人	50	8 細谷 翼	74
9 秋吉 耕佑	124	9 豊島 怜	50	9 菅原 陸	49	9 高杉 奈緒子	61
10 前田 恵助	90	10 井手 翔太	49	10 荒川 晃大	48	10 安村 武志	61

【選手権ポイントスケール】

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
得点	25	22	20	18	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

※予選出走台数1台以下は不成立・得点は完走者のみ

※MFJ-GPでは、上記にボーナスポイント3点が加算される。

## INFORMATION



パワーアップして全国無料放送!!

全日本ロードレース選手権、全日本モトクロス選手権をダイジェスト編集。  
モーターサイクルスポーツバラエティ「tv.motoちゃんねる」として全国無料放送のBS12で放映!!

●放映予定  
■放送:毎月最終土曜日21:30~22:00 (月1回、3月~12月予定)  
☆詳しくはBS12(トゥエルビ) <http://www.twellv.co.jp/>



全日本ロードレース選手権全戦・全クラス(JSB1000/J-GP2/ST600/J-GP3 & MFJカップJP250)の予選・決勝をライブ配信! 迫力ある映像をお届けします。  
※通信環境によりディレイ配信となる場合もあります

## インターネットライブ中継&動画配信も充実!!



YouTube「MFJ SUPERBIKE オフィシャルチャンネル」では、予選・決勝直後のライダーインタビューを中心に、全日本ロードレースの迫力を動画にて配信!